

【山崎主宰の俳句】

何が来る

山崎 聰

遺品に眼鏡月光の夏おわる

十五夜のあとに満月蛸の家

晩節は花野に眼鏡置くような

満月のそのさき淡海麴小屋

台風一過影あるものとして歩む

木犀のほか何と何灯るかな

今ここにこうしてわれら台風裡

金木犀銀木犀と昼の酒

台風二つそのあとに何が来る

風すでにけものにおい神の留守